

神々・祠群の名称

	神々・祠の名称	位置の名称
1	石坂の夜泣き地藏	石坂祠群の一番奥
2	石坂の不動明	眼病の守り神
3	石坂の稲荷様	石坂地内
4	無上靈宝神道(持加)	石坂地内
5	湯殿山・飯豊山	石坂地内
6	堂の前の観世音	堂の前のお墓の近く
7	恩沙郡巍神社	ホーソ神様
8	稲荷様	村岡さよ子宅裏
9	正一位稲荷大明神	仲丸山
10	金毘羅様・秋倭様	仲丸山
11	古峰神社(古峰原様)	仲丸山の奥
12	山の神様(風神様)	岩の上
13	雷神様	山の神様の隣
14	お伊勢様	神社の裏側
15	天神様(北野の天満宮)	学問の神様
16	愛宕様	岩山の頂上
17	虫供養	三坂のはずれ
18	山の神様	遠山(中ノ沢途中の山道)
19	滝下明神	高畑と東ヶ又途中の山道
20	水神様	佐久間スミ子宅前
21	水神様	五十嵐和吉宅裏
22	大山祇神社	村中安全の鎮守様
23	山の神様	台倉
24	水神様・金毘羅様	下皆沢
25	馬頭観音	下皆沢
26	大淵温泉守護神	水没で離島となっている
27	龍神様	佐久間源一郎邸内
28	温泉神社・薬師如来	つるの湯
29	稲荷様	只見川遊歩道沿い
30	金毘羅様	只見川遊歩道沿い

神々の道 案内図



14 お伊勢様



霧幻峡の渡し



28 温泉神社

神々の祠紹介

早戸地区

当早戸地区は、次の様な条件のもと
地区内に30もの祠が出来たとされている。
信仰の厚い人が多い、石工が多かった。
良質な石が採れるなどが挙げられる。
これらの神々は6月20日を
神々の道刈りと定め、
各家々で道刈りを行う。



稲荷様

五穀をつかさどる神に、五穀豊穡をお祈りする祠。
初午が祭日である。

3 石坂の稲荷様

五十嵐芳正家の屋敷稲荷として建立奉納した
ものわけあつて現在地に移された。

8 稲荷大明神

佐久間佐一家が奉納したもので屋敷前である
が、地区民全員の祈願を受けておる。徳川時代
に建立したと言われている。



佐久間徳一の
先祖が名主在
職時に建立さ
れた祠であ
る。地区民全
員の祈願を受
けている。

9 中丸山の稲荷大明神

佐久間徳一の
先祖が名主在
職時に建立さ
れた祠であ
る。地区民全
員の祈願を受
けている。

24 下皆沢金毘羅大明神

航海(筏流し)をする人の願いを叶える神でも
ある。この祠の建立されている地は、只見川を
見下ろす大根おろしの難所の地である。早戸村
名主を中心として建立した。
この建立には筏師も関わったとも言われてい
る。(筏師の名前には新潟県東蒲原郡揚川村、斉
藤伝八ほか12名など116名が安全祈願に関
わったと記された石碑がある。
祭日は6月20日を神々の道刈りと決めこの日
を祭日とした。



1 石坂の夜泣き地藏

夜泣きのはげしい子供がいた、岩盤の間に赤子の祠
を建立夜泣きが直るよう祈願した。地区の人も次々
に着物、帽子などを着せ変え吾が子の夜泣きの治癒
を願った。



29 稲荷大明神

坂瀬川の稲荷大明神と言われていたが、2回に
わたる国道の改良工事により現在地に移され
た。佐久間佐一家の祖先が開田したのを期に豊
作を祈願し建立したものとされている。

金毘羅大明神

俗に水神様また水神祠と言われております。

10 水神様、(金毘羅大明神)中丸山



文政9年建
立、目黒卓男
の先祖目黒
徳右工門世
話人で建立
道中安全、水
上安全とし
て祀る。

4 無上靈宝神道



建立者 信州中稻郡高
藤下川手村、春日林蔵
当地は佐久間和右工
門建立とある。建立、
文化5年5月。この石
碑の由来、山伏が当地
を修行温泉に入り滞
在中和右工門の共鳴
を得本石碑を建立し
たとされている。

5 湯殿山・飯豊山(石坂)



建立者は早戸村とさ
れているが、早戸温
泉に湯治し片眼治療
中の行者が名主の許
可を得て之を書きそ
の字を彫ったとゆう
伝言あり、行者は当
時の状況より察する
に道を求め諸国修行
中の者と推計され
る。

2 石坂の不動明王



仏教、明王のひと
つで大聖威怒
王とも言われ、目
黒長松が建立し
たと言われ、今
は目黒一美宅で
眼の神様として
祀り、三月二十
八日を祭日とし
て地区の人々を
招きお茶飲みな
どをしている。

10 秋倭神社



安政2年、佐久
間源一郎の祖先
佐久間庄次兵衛
が建立、近代で
は養蚕の神様と
して初午に繭の
形をしただんご
をつくり参拝を
した。

20 水神様(金毘羅大明神)佐久間スミ子宅前

佐久間徳一の祖先が建立したもので、深さが約
3m程の井戸を掘り生活用水として使用し、2
月1日を祭日とし旗を建て祀っていた。

21 水神様(金毘羅大明神)五十嵐和吉宅裏

五十嵐家の祖先が建立した。
この地域は台倉沢の扇状地で豊富な水が湧き
地区全体の生活用水に使われていた。

6 観音様(子安観音菩薩)

建立/文化4年 建立者/地区全体
1355年湯の平(木戸村)現早戸居平へ移転
※注/大山崩れのため危険居住困難全村移転
祭日はお盆(8月16日)

7 地蔵様(地藏菩薩)

建立年/不明(明治に入らない内である)
建立/早戸村全体
地藏菩薩は六道能化の菩薩で慈悲を主とし子
供の靈魂を護ると結う仏。

7 ホウソウ神様(恩紗那勉神社)

建立者/佐久間徳一の祖が建てた
祭日/2月1日
ホウソウ神様として信仰が厚い。

11 古峯神社(古峯ヶ原様)

祭日/3月17日
生たまごを持って参拝し、この祠を護っている
佐久間長子宅で地区の人たちはお茶をご馳走
になってくる。
奉納/早戸地区全体

12 山の神様(風神様)

建立/文久元年と推定される
建立/早戸地区全体

風の神様/風書除けとして祀られた

13 雷神様

建立/文久元年 祭日/5月20日

縁起/雷神様はカミナリサマと呼び雷神の宮と呼んで祠を作りお参りをした。当時科学の知識も低く自然の現象を神の怒りとして恐れた為である。

14 お伊勢様(伊勢大神宮)

建立/安政2年と推定される

佐久間弥一家の祖先
嘉永7年12月12日
佐久間弥市が高野山を参拝、高野山遍照光院より建立茶牌を受けてきた。



15 天神様(天満天神宮)

建立者/年/不明(明治以前ではある)

天満天神宮は祭神/平安時代、菅原道真で字間の神様として崇拝される。

2月25日が祭日で北野//天満天神宮のはたをあげ参拝をした。

石祠に文字の記載はない、但、裏石面に島居の絵が見られる。



17 虫供養塔(道祖神)

建立/平成12年 地区民全員で作成

祭日/旧10月10日 現在は新11月10日

1年間害虫を駆除したその供養を行う日。当日は午後1時当番家が村下から鉦を合図に供養塔へ、各家々から花をもって参加する



27 龍神様

建立/昭和38年5月

佐久間源一郎の祖父源之助が岩山の下に建立したが国道改良により現在は邸宅内に移築された。竜神様は厄除け観音として祀られている。



山の神

山からの風・雪・水害から安全を祈願する。

18 山ノ神

祭日/3月12日 佐久間公明の祖先

ぜんまい採りに行って山でまくれた、お蔭様で怪我ひとつしなかった、御礼に、また今後の安全を祈願して祠を建てた、

23 山ノ神(大山氏神)



佐久間次男の祖先が建立した
石に佐久間新次良とある昔日台倉山上方より雪崩あり豊雄家に入り一部崩壊した。以降安住の生活が出来るよう二体の神を祀った。

28 温泉神社

祭日/8月24日

宮下ダム建設により現在地に移築された。建立は早戸村全体の尊敬を受ける。



16 愛宕様(愛宕大明神)

祠に建立年・世話人などの記載はない、台倉山の中腹で集落を見下ろす高台にあり、火伏せ・防火の神様として崇拝されている。



19 滝下明神

建立者/五十嵐徳美の祖先が寄付建立

祭日は3月12日

祠はさくらの木の側に立派な石の祠であったが地形が急峻で崩れ木の葉で埋もれたが現在は見られない。

22 大山神社

地区全体で建立した、建立は明和4年

祭日は9月15日

山崩れあり、木戸村(現湯ノ平)から居平に移された

26 大淵温泉の守護神

大淵温泉は眼に効く温泉として自炊棟まであったが宮下ダムにより水没し廃業となった。現在祠はJR只見線脇に安座されている。

28 薬師如来(薬王薬師如来)

建立は不明

温泉神社よりは古いと言われている。温泉湧き出すことは神仏のためとゆう考えからお祀りしたことと思う。

